

キャリア教育の全体計画

児童生徒の実態 障がいや重度・重複化している児童生徒が多くなっている状況だが、一人一人がそれぞれの自立に向けて努力をしている。		学校教育目標 健康で安全な学校生活を通して、心豊かでたくましく生き抜く児童生徒の育成		教育関係法規 日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領等			
児童生徒・保護者の願い ・楽しく笑顔で過ごして欲しい ・興味や関心を広げて欲しい ・福祉施設や会社で働きたい等				社会の要請 ・生きる力の育成 ・勤労観・職業観の育成 ・人間関係を構築する力の育成			
学部目標							
小学部 健康で豊かな社会生活を送るための基本的な生活習慣や知識、技能、態度を養う。		中学部 豊かな人間性を育み、身近な社会生活に必要な生活習慣や知識、技能、態度を養う。		高等部 自立と社会参加に向けて養ってきた知識技能・態度を高めるとともに社会の一員として豊かに生きる力を養う。			
キャリア教育目標 ライフステージや発達段階に応じて、課題に積極的に取り組む意欲や力を身に付けさせ、葛藤しながらも社会の中で自分らしい生き方を実現しようとする態度を育てる。				キャリアサポート部の方針 小学部から高等部までの、組織的・系統的なキャリア教育を推進し、卒業後を見据えた適切な指導と支援を行う。			
各学部におけるキャリア教育の目標							
各学部	小学部 下学年 上学年		中学部	高等部			
キャリア発達段階	基本的な生活習慣の確立をし、学校生活でのごく身近な役割を体験する。 （自分の夢や職業の啓発）		生産的作業を通して貢献を実感する体験を積み重ね、生活意欲の向上を図る。（勤労観の育成）	職業生活の質を高め、働く意欲の向上を図る。 自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる。			
目標	自分のことは自分でやり、学校や家庭で決められた自分の役割を遂行することによって貢献することの基本を学ぶ。	作業的・生産的な活動を取り入れ、周りの人に喜ばれる体験をする。 集団の中で貢献する体験をし、協力、協調、協働の大切さを学ぶ。	一人でできる作業を行い、成功体験を積み重ねる。 自分でしている作業の意味が理解できる。 見通しをもって進んで作業に取り組むことができる。 作業をすることに、楽しみや喜びを感じる。	指示理解、応答など職業生活で最低限必要なコミュニケーション能力を身に付ける。 自己の進路について多角的、多方面に情報を収集し、卒業後の進路について考える力を身に付ける。			
	自分の将来に夢を抱き、いろいろな職業について興味、関心をもつ。		生活意欲を高めたり、生活態度を整えたりして、勤労観を高める。	働く意欲や態度を高め、勤労意欲や職業観を深める。			
各教科・領域等におけるキャリア教育の目標							
	教科別の指導	領域別の指導 特別活動 自立活動		教科等を合わせた指導 日常生活の指導 生活単元学習 作業学習		総合的な学習の時間 （探究）	
小学部	日常生活に必要な基本的知識・技能を身に付けることができるようにする。	集団活動をとおして、自ら参加しようとする意欲を高める。	自ら身体を動かしたり、意識して使ったりできるようにする。 自分の気持ちを表現しながらいろいろな人や物に関わったり、環境の変化を受け入れたりすることができるようにする。	生活の流れに沿って、必要な支援を受けながら、食事や排泄、衣服の着脱などができるようにする。	生活に結びついた活動に意欲的に取り組み、達成感を味わうことができるようにする。	交流及び共同学習をとおして、同年代の多くの子どもたちとともに学び合うことができるようにする。	
中学部	社会生活に必要な基本的知識や技能を身に付け、生活の中に生かすことができるようにする。	集団生活の中で決められた役割を果たしたり、友達と一緒に活動したりする楽しさを味わうようにする。	自分の健康や身体の状態を知り、進んで体を使うことができるようにする。 集団の中で自分の意思を表現したり、周囲の意思を受け入れながら、人との関わりを楽しむことができるようにする。	基本的な生活習慣を身に付け、生活の流れに沿って主体的に行動できるようにする。	身近な社会生活についての学習や経験をとおして、社会生活への知識・技能を身に付けることができるようにする。	作業をとおして、働くことの意味や喜びを感じ、働くことに慣れることができるようにする。	地域の人との交流をとおして、人間関係を広げるとともに、余暇を充実させ生活を豊かにできるようにする。
高等部	自立と社会参加に必要な知識や技能を身に付け、主体的に生活に生かすことができるようにする。	集団生活に積極的に参加し、決められた役割を責任をもって果たすことができるようにする。	自分の健康や身体の状態について把握し、自分の生活の課題に取り組むことができるようにする。 相手に伝わる表現方法を身に付け、様々な人との関わり合うことができるようにする。 自己の意思を主体的に表出しようとする力を育み、健康の保持に努める。	望ましい生活習慣を確立し、日常生活や集団生活において自主的、主体的に行動できるようにする。	話し合い、計画を立て、主体的活動を行う経験を通して、社会生活への知識・技能・関心を高めるようにする。 外界への興味関心を広げ、様々な感覚や感情の経験を通して、生活経験の拡充を図る。	作業や実習を通して、職業能力を高めるとともに、職業生活に必要な知識、技能を身に付けることができるようにする。	人との関わりを深め、さまざまな体験活動を通して、職業生活に向けて自らの課題に気づき、解決する力を身に付けることができるようにする。